

～目次～

【1】新年度(2023年度)にあたって	特定非営利活動団体 東京高次脳機能障害協議会 理事長 今井雅子
【2】TKK活動	
・2023 年度(令和 5 年度) TKK 総会・理事会 案内	
・2023 年度 TKK 主催: 医療及び家族相談会 紹介	
・第 2 回 ZOOM ウェビナー 実践的アプローチ講習会を視聴して	
【3】加盟団体等の活動	
・一般社団法人交通事故被害者家族ネットワーク/基調講演と対談 案内	
・サークルエコー	
・杉並クローバー	
・みなと高次脳	
・いちごえ会	
・杜のハーモニー♪	
・高次脳機能障害者と家族の会	
【4】行政、他団体の活動	
・2023(令和 5)年度港区高次脳機能障害理解促進事業 案内	
・区西南部高次脳機能障害者支援普及事業 案内	
・令和 5 年度 渋谷区高次脳機能障害者支援促進事業 講演会 案内	
・失語症の当事者が脚本家および演者として挑戦する異例の「朗読群像劇」案内	
・関東圏 ピアサポーター養成準備研修会に参加して	
・令和 4 年度 港区高次脳機能障害理解促進事業/研修会に参加して	

— 各記事の印 ●は活動報告、○は今後の予定 表題の< >はシリーズ開催です —

【1】新年度(2023年度)にあたって

* *

特定非営利活動団体 東京高次脳機能障害協議会
理事長 今井雅子

世の中、コロナ禍で思うような活動ができませんでしたが、今年度は少しずつ動き出しています。
TKKもこの貴重な体験を生かし、次に繋げる活動を立て直したいと思います。
活動の大きな柱の一つ、アプローチ講習会も1年は中止、2年間は ZOOM ウェビナーによって開催しました。

今まで参加できなかった方々からは、ZOOMによる開催を良かったと評され、反面会場での開催を期待されている方からは、講師の生の声を聴きたい、会場での交流も大事、人との出会いや繋がりも大切にしたいとのご意見がありました。今年はそのらのご意見を含めいろいろ検討した結果、再び ZOOM ウェビナーでの開催を決断しました。

5月に5類となる新型コロナ感染症が今後どうなるか不明ではありますが、出来るところで安全に活動していきたいと考えています。そのためには情報収集、発信が必要と考えていますので、加盟団体30の強みを生かして、みなさんからの情報、ご意見を大切に、発信していきたいと思えます。

【2】TKK活動

* *

○＜2023年度(令和5年度) TKK 総会・理事会＞

総会:6/18(日) 13:00～14:30

理事会:6/18(日) 15:00～16:00

新宿区戸塚地域センターにて開催予定

○＜2023年度 TKK 主催:医療及び家族相談会＞

お申し込み等詳しくは下記をご覧ください

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=250

- ・日曜日の 13:30～16:30 ・各回とも先着順に3組まで受付け ・1組につき1時間ご相談に応じます
- ・今年度は慈恵第三病院、都心障に、言語生活サポートセンターを加え、9回実施予定。

【会場 A】東京慈恵会医科大学附属第三病院 …5/14、9/10、11/19

【会場 B】東京都心身障害者福祉センター…8/6、10/22、12/10、2024年2/25

【会場 C】(株)言語生活サポートセンター…6/11、2024年1/14

●第2回 ZOOM ウェビナー 実践的アプローチ講習会を視聴して

日本損害保険協会助成リハビリテーション講習会事業

第2回 2023年2月19日(日)

・又村 あおい 氏『高次脳機能障害支援法(仮称)を実現するために』

・中島 友加 氏『子どもの高次脳機能障害の理解と支援について』

・赤木 陽子 氏『高次脳機能障害のある子どもへの復学支援について』

====又村氏のご講演は非常にわかりやすく、とても参考になりました。TKKでは、以前にもご講演いただいておりますが、今回は、より深く入り込んだ講演内容と感じました。高次脳機能障害者支援法(仮称)成立までの丁寧なご説明があり、一層理解が深まりました。

中島氏のご講演は、子供の高次脳機能障害への理解が得られるお話でしたし、赤木氏のご講演は、子供の高次脳機能障害への支援事例から細やかな実践が良く分かる内容でした。

子供の高次脳機能障害には、今更ながら医療・教育関係機関との連携が必須であることを痛感するとともに、千葉県のように病院・リハビリセンター・特別支援学校などとの連携があり、支援が届く中で、子供たちが育っていくことを強く感じさせられました。他の地域でもそうあってほしいことを願わずにはおれません。

====メルマガ編集担当 伊地山敏

【3】加盟団体等の活動

* *

一般社団法人交通事故被害者家族ネットワーク

○タイトル: 交通事故の被害者支援を考える

基調講演: 渡邊修氏(東京慈恵会医科大学附属第三病院)「交通事故で生じる高次脳機能障害の理解とその対応」

対談: 渡邊修氏/大岡由香氏(武庫川女子大学 心理 社会福祉学科准教授)

開催方法: オンライン聴講(zoom 配信) * セミナー終了後、期間限定で YouTube 配信いたします。

日時: 4月30日(日) 時間: 14:00~16:00

申込締切: 令和5年4月26日(水)

<http://www.jiko-kazoku.com/0430.html>

杉並クローバー

○5/20(土) 勉強会 13:00~15:30

場所: 高井戸地域区民センター(高井戸東 3-7-5)3階 第9集会室

内容: 当事者による体験発表

・6/17(土) 家族交流会 13:30~15:30

・7/15(土) お楽しみ会 ダーツ交流会 13:00~16:00

毎月開催のカフェクローバー 6/3,7/1,13:00~15:00。同じく毎月開催の当事者会 4/22,5/27,13:00~15:00

◇勉強会とお楽しみ会、カフェクローバーの問い合わせは: 03-3247-3242

◇家族交流会の問い合わせは: 障害者生活支援課地域生活支援担当 03-3332-1817

◇当事者会の問い合わせは: clover2012@gmail.com

サークルエコー

○①web 集いの場(毎月第二月曜; 13:00-15:00) テーマ: 健康談義

②みらくル TV サポート(毎月第二日曜; 14:30-16:00)

4月・5月 ICF(国際生活機能分類)で高次脳機能障害をより深く理解する 上田敏先生

6月 障害者のための読書活動 りんごプロジェクト

7月 調整中(予定; 目に見えない障害と目が見えない障害 パート2)

みなと高次脳

○「みなと高次脳当事者会自灯明(じとうみょう)」開催

日時: 5月20日(土) pm1:30~4:00

会場: 港区立赤坂区民センター 調理室

<https://www.city.minato.tokyo.jp/shisetsu/kumincenter/kumincenter/04.html>

内容: <春のリクリエーション> 調理と交流

◇会員以外も参加可能。希望者はホームページ問い合わせ欄より連絡をお待ちしています。

みなと高次脳ホームページ：<https://yykoujinou.com/>

○総会

日 時：6月24日(土) pm1:30～4:00

会 場：港区立高輪区民センター 創作室

<https://www.city.minato.tokyo.jp/shisetsu/kumincenter/kumincenter/05.html>

いちごえ会

●第26回交流会報告

日にち：3月26日

会 場：小金市障害者福祉センター及びオンライン報告

====あいにくの雨で、桜の名所小金井公園桜まつりに行くことができず、障害者福祉センターで交流会を行いました。遠くから雨の中、電車・タクシーを乗り継いで参加された方もありお花見ができず残念でしたが、深く情報交換ができ、暖かい交流会でした。

自己紹介では初めて参加された方、障害者雇用で障害と共に安定した生活など勇気と希望を頂きました。先輩障害者は高次脳機能障害になって間もない不安な人たちに寄り添うように励ましていました。

ベテランの失語症者は【言いたいことを100%伝えることは無理、60%しか理解してもらえない、言葉に詰まり途中で止めてしまう、文章は分かりにくいので「読む」ことへの支援をしてほしい】など意思疎通支援者へのアドバイスもありました。

失語症者は外出が大変で閉じこもりが多い、ともに理解し助け合うことが大事と話し合いました。

====いちごえ会 増村幸子

杜のハーモニー♪

○「杜のマルシェ♪」開催

日 時：5/26(金)～5/28(日) 10:00～17:00 初日は12:00より/最終日は15:00まで

会 場：深大寺曼珠苑ギャラリー 調布市深大寺元町5-9-5

「高次脳機能障害の理解を広げたい」と願い、「地域で福祉と文化が繋がる活動」を始めた杜のハーモニー♪会員・地域の皆さま・障害のある方もない方も参加される作品展・販売会です。

詳しくは下記をクリック

<http://morihamo.com/>

●勉強会「高次脳機能障害を取り巻くいろいろな制度」に参加して

日にち：3/4(土) 会 場：調布市総合福祉センター 201室

講 師：小島秀人氏 調布市 福祉健康部 障害福祉課 サービス支援係

====講師に小島氏をお招きし、「高次脳機能障害を取り巻くいろいろな制度」と題してのお話でした。

・障害福祉サービスと介護保険サービスについて 65歳を過ぎると、介護保険サービスの利用が優先される。ただし、全てのサービスが移行対象ではない。区市町村により判断・取扱いが異なる場合も多い。etc.

・制度の動向について 重度者への対応がメインだが、必ずしも高齢化＝重度化ではない。制度が想定する重度は高次脳機能障害者の特性を必ずしも踏まえていない。高齢障害者、高次脳機能障害者の特性と必要な支援とは何なの

ろう。と語られました。

・権利擁護・財産の管理について

- 成年後見制度の担い手不足は、市民後見人の拡大にも繋がるか。
- 後見人制度の報酬は、利用者には負担が大きい一方、後見人にとっては報酬が不十分である。
- 身上監護、意思疎通支援の必要性。
- 後見人による不正・不祥事の防止策。
- 本人の行為制限の大きさ(本人の財産を本人のために使うことが難しくなる状況)等の解決策は。

10年後の状況は、現在とは変わっているのではないかとのお話でした。

・今から準備しておくこととして 支援を受けながら(活用しながら)生活することに慣れておく。本人のこゝと、特性を知っている人・支援機関があること(複数あるほうが良い)。本人の将来について、本人と家族と一緒に考えること。を挙げられ、最後に制度はこれからも変わっていくかもしれない。でも、制度が変わっても、「準備しておくこと」は同じです。と締めくくられました。会員に向けて、現在・近い将来・遠い将来に備えて実践で役に立つ知識をいただき、また、当面の相談にも答えてくださいました。

====杜のハーモニー♪ 伊地山敏

高次脳機能障害者と家族の会

○総会&講習会

日時：6月4日(日)13:45~総会

14:00~16:00 講習会

講演会:「高次脳機能障害のある方とご家族への支援~環境の大切さ~」

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科 教授 渡邊 修 先生

会場：エッサム神田 1号館 6階 601 (千代田区神田鍛冶町 3-2-2)

JR 神田駅 東口 徒歩 1分・東京メトロ銀座線神田駅 3 出口すぐ、東京メトロ神田駅 3 出口を経由出来ます

参加費：無料 参加にあたり、マスクの着用、手指の消毒、検温などのコロナ感染対策のご協力をお願いいたします。

オンライン(Zoom)での参加もできます。

◇申し込み:各参加者氏名、連絡先を添えて、FAX・メールで申し込みをお願いします。

Zoomで参加を希望の方はメールにてZoom参加と明記のこと(5/31まで)。

FAX：03-3200-8970(太田) メールアドレス：koujinou_kazokukai@yahoo.co.jp

当日連絡先:090-8036-8606(太田) 090-9204-2521(松枝)

【4】行政、他団体の活動

* *

○<2023(令和5)年度 港区高次脳機能障害理解促進事業>

「高次脳機能障害『相談会』」

多くの苦勞を乗り越えてきた家族相談員を中心に、社会福祉士(SW)、精神保健福祉士(PSW)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)などの専門職員達が担当しています。不安なことやどんな些細なことでも気軽に相談できる場です。

例えば、高次脳機能障害と診断されたがこの先は？ 退院後の生活は？ 日中の活動の場は？ 復学や復職は？ 福祉や経済的支援は？ 不安で仕方がない…等々..。

日 時:2023(令和 5)年 4 月～2024(令和 6)年 3 月

毎月 第2木曜日

午後 1:30～4:30(1 日 3 組、1 組 1 時間)

会 場:港区立障害保健福祉センター 7階 会議室2

<https://www.city.minato.tokyo.jp/kenko/fukushi/shogaisha/madoguchi/hokenfukushi.html>

費 用:無料

◇問合せ & 申込み先:港区立障害保健福祉センター TEL 03-5439-2511

主 催:港区

受 託:港区立障害保健福祉センター

協 力:みなと高次脳

○<区西南部(世田谷・渋谷・目黒)高次脳機能障害支援普及事業>

「専門的リハビリテーションの充実 講演」WEBにて開催

日 時:5 月 24 日(水) 19:00～20:00

① やさしくわかる介護者向けの高次脳機能障害～No1.失語症とは～ 報告者 松井 滯

② 事例紹介:失語症の症例～STの立場から～ 報告者 加藤明日香

対 象:ケアマネージャー、ヘルパー、リハスタッフ、看護師、医師、及び当事者、家族

参加申し込み締切:5/22

◇申し込み先: <http://bit.ly/40ho6sL>

◇問い合わせ:03-3700-1151 北村・千葉

詳しい情報は下記をご覧ください。

<https://tm-seinanbu.com>

○<令和 5 年度 渋谷区 高次脳機能障害者支援促進事業 講演会>

『高次脳機能障害の夫とともに ～介護者へは支えを 当事者へは居場所を～』

日 時:6/10(土)14:00～16:00

会 場:渋谷区役所 14 階 大集会室

講 師:柴本礼氏 (TKK 理事、イラストレーター、ネットでのやりとりを主体とした「コウジ村」を主宰)

対 象:区内在住・在勤の方を優先

◇申し込みは 5/8 から 6/7 まで

◇申し込み先:03-3463-3298

○ “見えない障害”「失語症」 その当事者が、脚本家および演者として挑戦する異例の「朗読群像劇」

日 時:2023 年 7 月 1 日(土)13:30～15:30(13 時開場)

会 場:きゅりあん(品川区立総合区民会館)小ホール

内 容:第一部:朗読劇「言葉つなぐ明日へ」

第二部:トークショー「失語症者にとっての朗読とは」(医師・長谷川幹氏、文筆家・鈴木大介氏)

参加費:2,500 円

◇お問い合わせ先:(一社)ことばアートの会 info@kotoba-art.com

Phone (03)6824-5450 担当者:桑川(くめかわ) 携帯(090)2457-0077

●<関東圏 ピアサポーター養成準備研修会に参加して>

日 時:1月29日(日) 13:30~15:30

会 場:TKP 東京駅カンファレンスルーム

====2020(令和 2)年から始まっている「高次脳機能障害者のピアサポート活動支援に関する研究」の一環の集まり「ピアサポーター養成準備研修会」に参加してきました。

「ピアサポート」とは「同じ立場・課題に直面している仲間による支えあい」です。

既に2021年度厚生労働省障害福祉サービス等報酬改定がなされ「ピアサポート体制加算及びピアサポート実施加算」が付け加わったそうです。翌年 2022 年自治体主催で「障害者ピアサポート養成研修」も始まったそうです。当日会場では、東京都養成研修に参加された島津渡氏(社のハーモニー♪会員)の体験「ピアサポーターとして活動してみてもいいかな」の話もありました。参加された養成研修は6日間、内容は少し難しかった、資料や内容もボリューム多い、他の障害の方々と一緒に視野が広がったとの報告を聞きました。「今までの辛さを、これからの生きがいに。私たちだからこそ、できることがある。自信を持って一緒にやりましょう！」と伝えていらっしゃいました。

会場には予定を越す参加者(100名ほど)が集まったので、机も椅子もくつつく程の盛況ぶりでした。後半ではグループ(10名くらい)ごとの自己紹介と「ピアサポーターに関心を持った理由」「ピアサポーターに必要な力」がテーマでした。私が参加したグループは、当事者の方・地域の支援員の方、家族会の家族。それぞれ初めて出会った方々ばかりなので自己紹介に多く時間が割かれていましたが、その話の中に「自分の体験を生かすことができれば」「日頃、相談を受けている」「私もできることなのか?」と、発症時期やその後の改善、体験により大きく発言内容が違いました。今回はまず第1回で、今後も集まりがあるそうです。参加者の中からピアサポーターになって行く方が出ることを期待します。

配布された18ページに及ぶ資料の最後に、2006年国連で「障害者の権利に関する条約」が採択される際の障害当事者達のスローガン『私たちのことを、私たち抜きに決めないで!』の言葉が添えられていました。

====メルマガ編集担当 高井玲子

●<令和4(2022)年度 港区 高次脳機能障害理解促進事業に参加して>

研修会タイトル:高次脳機能障害 ~支援困難ケース~

日 時:2月3日(金) 18:30~20:30

会 場:港区立障害保健福祉センター

講 師 :山口加代子氏(公認心理師・臨床心理士)

====港区は専門家向けに<高次脳機能障害研修会>を毎年2回開催しています。2月の内容は主に社会的行動障害の症状をもつ方の支援困難とその対応でした。支援者の65%、指定特定相談事業所での75%が、支援困難を感じているとの数値。理由は医学的問題、症状の困難さ、家族協力の不十分、当事者自身のニーズの乏しさ、社会資源の不足。そして周囲と当事者のズレとはどのようなものなのか、小児と成人の両方の問題点を具体的な事例を掲げての内容でした。環境の面から、言葉掛けの面から、気持ちの背景の面からの様々なアプローチの例。ここには簡単に揚げられないほど豊富な内容でした。複雑な症状への細かい対応を限定された時間の中でポイントを上げながら進めてくださり大変興味深くアツという間の2時間でした。是非、他の地域でも開催されることを願っています。

====「みなと高次脳」高井玲子